

「自己点検・評価書」・「基礎資料」 正誤表

大学名：熊本大学薬学部

■自己点検・評価書

	頁	行	誤	正
1	10	20	合わせて <u>51</u> 単位以上	合わせて <u>40</u> 単位以上
2	10	22	開講されておらず、また「臨床薬物動態学」が <u>1</u> 単位科目であったが、	開講されていなかったが、
3	10	24	該当する科目は <u>53</u> 単位以上	該当する科目は <u>43</u> 単位以上
4	11		表 3-1	表 3-1 訂正版 (添付)
5	21	18	平成 <u>29</u> 年度以降の入学者	平成 <u>30</u> 年度以降の入学者
6	31	5	形成的評価 (総括的評価) により	評価により
7	34	23	未受検者	未受診者
8	34	24	受検	受診
9	34	表 5-2 1 行 4 列目	未受検者数	未受診者数
10	34	26	未受検者	未受診者
11	36	4	九州山口地区調整機構	九州・山口地区調整機構
12	36	5	九州山口地区調整機構	九州・山口地区調整機構
13	37	1	九州地区調整機構	九州・山口地区調整機構
14	41	12	九州山口地区調整機構	九州・山口地区調整機構
15	44	35~36	ジェネリック・スキルテスト	ジェネリックスキルテスト
16	54	34	留年生が科目を履修し	留年生が科目を聴講し
17	64	19	未受検者	未受診者
18	64	20	受検	受診
19	64	表 9-1 1 行 4 列目	未受検者数	未受診者数
20	64	22	未受検者	未受診者

■基礎資料

	資料番号	頁	箇所	誤	正
1	1-1 ~ 1-7				基礎資料 1-1 ~ 1-7 訂正版 (添付)

表 3-1 訂正版

表 3-1. (3-1) ~ (3-5) に該当する科目 (新カリキュラム・平成 30 年度入学者)

	科目内容	該当科目	単位合計
(3-1)	ヒューマニズム教育・医療倫理教育に該当する科目	医療倫理学 I (1 単位)、*基礎臨床心理学 (2 単位) 早期体験学習 (0.3 単位)	3.3 単位
(3-2)	教養教育・語学教育に該当する科目	【教養教育科目】 外国語科目 (4 単位)、情報科目 (2 単位)、 肥後熊本学 (1 単位)、理系基礎科目 (6 単位)  体育・スポーツ科学科目、自由選択外国語科目、リベラル アーツ科目、現代教養科目、Multidisciplinary Studies、 キャリア科目、開放科目の中から 11 単位以上	24 単位以 上
		【専門教育科目】 *ジェネリックスキル概論 (1 単位)	1 単位
(3-3)	薬学専門教育の実施に向けた準備教育に該当する科目	物理化学 I (2 単位)、有機化学 I (2 単位)、解剖生理学 概論 (2 単位)、生化学 I (2 単位)、早期体験学習 (0.5 単 位)、薬学概論 II (1.5 単位)	10 単位
(3-4)	医療安全教育に該当する科目	早期体験学習 (0.2 単位)	0.2 単位
(3-5)	生涯学習の意欲醸成に該当する科目	薬学概論 I (1 単位)、薬学概論 II (0.5 単位)	1.5 単位

\*印は新カリキュラムのみの専門教育科目

(基礎資料 1-1) 学年別授業科目

	1 年 次								
	科目名	前期・後期	1クラスあたりの定員	開講クラス数	履修者数	授業方法		単位数	
教養教育・語学教育	英語A-1	後期	40~50		54		エ		1
	英語A-2	後期	40~50		54		エ		1
	英語B-1	前期	40~50		54		エ		1
	英語B-2	前期	40~50		54		エ	E	1
	情報基礎A	前期	90		54	コ	エ		1
	情報基礎B	後期	90		54	コ	エ		1
	肥後館本学	前期又は後期	150		54			E	1
	数学概論	前期	90		53	コ			2
	統計学概論	後期	90		54	コ			2
	物理学	前期	90		54	コ			2
	(選)パッケージ5		180		6	コ			10
	(選)パッケージ6		180		10	コ			10
	(選)パッケージ7		180		10	コ			10
	(選)パッケージ8		180		11	コ			10
	(選)パッケージ9		180		9	コ			10
	(選)パッケージ10 (パッケージ5~10のいずれかを選択。1パッケージ8~9科目)		180		7	コ			10
	(選)パッケージ外の選択科目※								1
	※パッケージ外の選択科目については、全学の教養教育科目として多くの科目が開講されており受講者も分散している。科目毎の記載は多岐にわたり困難であるので省略した。 (参考：資料4-2「教養教育授業計画書」)								
	薬学専門教育	解剖生理学概論	前期	91	1	54	コ		
薬学概論I		前期	90	1	54	コ			1
早期体験学習		前期	90	1	54		エ		1
物理化学I		前期	98	1	57	コ			2
有機化学I		前期	116	1	63	コ			2
生化学I		前期	90	1	54	コ	エ		2
薬理学概論		後期	90	1	54	コ			2
医療倫理学I		後期	90	1	54	コ		S	1
薬学概論II		後期	89	1	53	コ			2
物理化学II		後期	88	1	53	コ			2
分析化学I		後期	91	1	54	コ	エ		2
有機化学II		後期	100	1	58	コ			2
生化学II		後期	91	1	53	コ	エ		2
分子生物学		後期	89	1	53	コ			2
ジェネリクススキル概論	後期	89	1	53	コ	エ		1	
病態生理解剖学	前期・後期	92	1	55	コ			2	
実習									
演習									
単位数の合計							(必須科目)		41
							(選択科目)		11
							合計		52

(凡例)  
講義=コ PBL/SGD=S 演習=エ  
e-learning=E

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について記入してください。  
2 下記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を付してください。

ヒューマンズム教育・医療倫理教育
教養教育科目
語学教育科目
医療安全教育科目
生涯学習の意欲醸成科目
コミュニケーション能力および自己表現能力を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(選)」と記してください。  
4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。  
5 表には下の「授業方法」の表記にそって、主な方法を記入してください。下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して作成してください。

「授業方法」の表記：講義=コ、 PBL/SGD=S

- 6 行は適宜加減し、記入してください。

## (基礎資料 1-2) 学年別授業科目

	2 年 次									
	科目名	前期・後期	1クラスあたりの人数	開講クラス数	履修者数	授業方法			単位数	
教養教育・語学教育	英語D-1	前期	90	1	53		エ	E	1	
	英語D-2	後期	90	1	53		エ	E	1	
薬学専門教育	情報処理A-1	前期	93	1	54	コ	エ		1	
	物理化学III	前期	93	1	53	コ	エ		2	
	分析化学II	前期	94	1	54	コ	エ		2	
	有機化学III	前期	92	1	54	コ	エ		2	
	生化学III	前期	94	1	55	コ			2	
	薬理学I	前期	95	1	54	コ			2	
	基礎臨床心理学	前期	54	1	54	コ	エ		2	
	情報処理A-2	後期	94	1	54	コ	エ		1	
	分析化学III	後期	92	1	52	コ	エ		2	
	有機化学IV	後期	92	1	52	コ			2	
	免疫学	後期	94	1	53	コ			2	
	微生物化学I	後期	94	1	53	コ			2	
	薬理学II	後期	92	1	53	コ			2	
	薬剤学I	後期	92	1	53	コ			2	
生薬学	後期	96	1	56	コ			2		
発生生物学	後期	93	1	54	コ			2		
実習	導入実習	前期	1~3	1	53	コ	ジ		1	
	物理系薬学実習I	前期	2~4	1	53	コ	ジ		1	
	物理系薬学実習II	前期	29~32 or 7~8	1	53	コ	ジ		1	
	生物系薬学実習I	前期	5~6	1	53	コ	ジ		1	
	生物系薬学実習II	前期	7~8	1	54	コ	ジ	S	1	
	化学系薬学実習I	後期	2~3	1	52	コ	ジ		2	
	化学系薬学実習II	後期	3	1	52	コ	ジ		1	
	化学系薬学実習III	後期	4 or 31	1	50	コ	ジ		1	
演習										
単位数の合計							(必須科目)			41
							(選択科目)			0
							合計			41

(凡例)

講義=コ PBL/SGD=S 実習=ジ

演習=エ e-learning=E

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について記入してください。  
2 下記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を付してください。

「科目の識別」

	ヒューマンズ教育・医療倫理教育
	教養教育科目
	語学教育科目
	医療安全教育科目
	生涯学習の意欲醸成科目
	コミュニケーション能力および自己表現能力を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(選)」と記してください。

- 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。

- 5 表には下の「授業方法」の表記にそって、主な方法を記入してください。下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して作成してください。

「授業方法」の表記：講義=コ、 PBL/SGD=S

- 6 行は適宜加除し、記入してください。

(基礎資料 1-3) 学年別授業科目

	3 年 次									
	科目名	前期・後期	1クラスあたりの人数	開講クラス数	履修者数	授業方法			単位数	
教養教育・語学教育										
薬学専門教育	医療倫理学II	前期	92	1	56	コ		S	1	
	薬学英語I	前期	92	1	55	コ			1	
	放射化学	前期	93	1	56	コ			2	
	有機化学V	前期	80	1	57	コ	エ		2	
	微生物化学II	前期	89	1	59	コ			2	
	衛生薬学I	前期	92	1	56	コ			2	
	薬剤学II	前期	94	1	61	コ			2	
	天然物化学	前期	86	1	56	コ			2	
	臨床心理学	前期	67	1	56	コ	エ		2	
	薬物治療学 I	前期	65	1	56	コ			2	
	薬物治療学 II	前期	64	1	55	コ			2	
	薬学英語II	後期	93	1	57	コ			1	
	有機化学VI	後期	73	1	60	コ			2	
	生体機能化学	後期	75	1	57	コ			2	
	衛生薬学II	後期	76	1	57	コ			2	
	薬理学III	後期	76	1	59	コ			2	
製剤学I	後期	96	1	59	コ	エ		2		
臨床検査学	後期	76	1	61	コ	エ		2		
医薬品情報管理学	後期	71	1	58	コ	エ	S	2		
実習	物理系薬学実習III	前期	5~6	1	56	コ	ジ		1	
	物理系薬学実習IV	前期	9	1	56	コ	ジ		1	
	生物系薬学実習III	前期	8~10	1	56	コ	ジ		1	
	生物系薬学実習IV	前期	5~6	1	56	コ	ジ		1	
	生物系薬学実習V	前期	7~9	1	56	コ	ジ		1	
	特別実習 (3年後期~6年)	後期	2~4	26	62		ジ			
演習										
単位数の合計							(必須科目)			40
							(選択科目)			0
							合計			40

(凡例)

講義=コ PBL/SGD=S 実習=ジ

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について記入してください。  
2 下記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を付してください。

「科目の識別」

	ヒューマンズム教育・医療倫理教育
	教養教育科目
	語学教育科目
	医療安全教育科目
	生涯学習の意欲醸成科目
	コミュニケーション能力および自己表現能力を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(選)」と記してください。  
4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。  
5 表には下の「授業方法」の表記にそって、主な方法を記入してください。下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して作成してください。

「授業方法」の表記: 講義=コ, PBL/SGD=S

- 6 行は適宜加除し、記入してください。

(基礎資料 1-4) 学年別授業科目

	4 年 次								
	科目名	前期・後期	1クラスあたりの人数	開講クラス数	履修者数	授業方法			単位数
教養教育・語学教育									
薬学専門教育	毒性・環境薬学	前期	65	1	56	コ			2
	製剤学II	前期	68	1	56	コ			2
	医療倫理学III	前期	59	1	56	コ			1
	漢方概論	前期	60	1	56	コ			2
	腫瘍治療学	前期	59	1	56	コ			1
	臨床薬物動態学	前期	55	1	53	コ	エ		2
	医薬統計学	前期	54	1	53	コ	エ		1
	薬事関係法規	前期	61	1	56	コ	エ		1
	地域薬局学	前期	61	1	56	コ			2
	薬物治療学III	前期	54	1	53	コ	S		2
薬物治療学IV	前期	54	1	53	コ	S		2	
実習	実務準備実習	後期	56	1	56	コ	エ・ジ	S	4
	特別実習(3年後期~6年)	前期・後期	2~4	26	56		ジ		
演習									
単位数の合計						(必須科目)			22
						(選択科目)			0
						合計			22

(凡例)

講義=コ PBL/SGD=S 実習=ジ

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について記入してください。  
2 下記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を付してください。

「科目の識別」

	ヒューマニズム教育・医療倫理教育
	教養教育科目
	語学教育科目
	医療安全教育科目
	生涯学習の意欲醸成科目
	コミュニケーション能力および自己表現能力を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(選)」と記してください。  
4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。  
5 表には下の「授業方法」の表記にそって、主な方法を記入してください。下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して作成してください。  
「授業方法」の表記: 講義=コ、 PBL/SGD=S  
6 行は適宜加除し、記入してください。

## (基礎資料 1-5) 学年別授業科目

	5 年 次								
	科目名	前期・後期	1クラスあたりの人数	開講クラス数	履修者数	授業方法			単位数
教養教育・語学教育									
薬学専門教育	薬物処方学	前期	64		55	コ	エ	S	1
	実習前総括講義	前期	57		55	コ	エ	S	1
実習	病院実務実習	前期・後期	1~23	11	55		ジ		10
	薬局実務実習	前期・後期	1~2	29	55		ジ		10
	特別実習(3年後期~6年)	前期・後期	2~4	26	57		ジ		
演習									
単位数の合計							(必須科目)		22
							(選択科目)		0
							合計		22

(凡例)

講義=コ PBL/SGD=S 実習=ジ

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について記入してください。  
2 下記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を付してください。

「科目の識別」

	ヒューマンズ教育・医療倫理教育
	教養教育科目
	語学教育科目
	医療安全教育科目
	生涯学習の意欲醸成科目
	コミュニケーション能力および自己表現能力を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(選)」と記してください。

- 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。

- 5 表には下の「授業方法」の表記にそって、主な方法を記入してください。下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して作成してください。

「授業方法」の表記：講義=コ、 PBL/SGD=S

- 6 行は適宜加除し、記入してください。

## (基礎資料 1-6) 学年別授業科目

	6 年 次								
	科目名	前期・後期	1クラスあたりの人数	開講クラス数	履修者数	授業方法			単位数
教養教育・語学教育									
薬学専門教育	看護学	前期	58	1	54	コ	エ		1
	医療経済学	前期	58	1	54	コ	エ		2
	薬学総論	前期	56	1	53	コ			2
	卒業前総括講義	後期	53	1	51	コ	エ		1
実習	特別実習(3年後期~6年)	前期・後期	2~4	26	55		ジ		12
演習									
単位数の合計						(必須科目)			18
						(選択科目)			0
						合計			18

(凡例)

講義=コ PBL/SGD=S 演習=エ

実習=ジ

[注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について記入してください。

2 下記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を付してください。

「科目の識別」

	ヒューマンズ教育・医療倫理教育
	教養教育科目
	語学教育科目
	医療安全教育科目
	生涯学習の意欲醸成科目
	コミュニケーション能力および自己表現能力を身につけるための科目

3 選択科目については、頭に「選」と記してください。

4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。

5 表には下の「授業方法」の表記にそって、主な方法を記入してください。下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して作成してください。

「授業方法」の表記：講義=コ、 PBL/SGD=S

6 行は適宜加除し、記入してください。



(基礎資料1-7)訂正版(2019年11月7日提出)

(基礎資料1-7) 学年別授業科目 【平成26年度入学】

(基礎資料1-1)から(基礎資料1-6)までの結果から下記の(1)および(2)を記入してください。

(1) 下表の「合計科目数」および「単位数」を記入してください。

科目の識別	合計科目数	合計単位数
ヒューマニズム教育・医療倫理教育	2	1.3
教養教育科目	13	22
語学教育科目	7	8
医療安全教育科目	1	0.2
生涯学習の意欲醸成科目	2	1.5
コミュニケーション能力および自己表現能力を身につけるための科目	1	0.5

(2) 学年別授業科目の表から前期と後期の単位数を合算して記入してください。

学 年	単位数		
	必須科目	選択科目	合計
1 年 次	41	10	51
2 年 次	39	0	39
3 年 次	40	0	40
4 年 次	23	0	23
5 年 次	22	0	22
6 年 次	18	0	18
合計	183	10	193

(基礎資料1-7)訂正版(2019年11月7日提出)

(基礎資料1-7) 学年別授業科目 【平成30年度入学】

(基礎資料1-1)から(基礎資料1-6)までの結果から下記の(1)および(2)を記入してください。

(1) 下表の「合計科目数」および「単位数」を記入してください。

科目の識別	合計科目数	合計単位数
ヒューマニズム教育・医療倫理教育	3	3.3
教養教育科目	15~16	20
語学教育科目	4	4
医療安全教育科目	1	0.2
生涯学習の意欲醸成科目	2	1.5
コミュニケーション能力および自己表現能力を身につけるための科目	2	1.5

(2) 学年別授業科目の表から前期と後期の単位数を合算して記入してください。

学 年	単位数		
	必須科目	選択科目	合計
1 年 次	41	11	52
2 年 次	39	0	39
3 年 次	40	0	40
4 年 次	23	0	23
5 年 次	22	0	22
6 年 次	17	0	17
合計	182	11	193